

会場案内・アクセス

大会受付・開会式・環境シンポジウム

中野市豊田文化センター

長野県中野市豊津2509
TEL:0269-38-2922〔電車〕JR飯山線・替佐駅から徒歩約5分
〔お車〕上信越自動車道・信州中野ICから約15分

大会スタート

中央橋カーポート

長野県飯山市飯山

〔電車〕北陸新幹線・飯山駅から徒歩約15分
〔お車〕上信越自動車道・豊田飯山ICから約15分

閉会式(表彰式)

飯山市文化交流館なちゅら

長野県飯山市飯山1370-1
TEL:0269-67-0311〔電車〕北陸新幹線・飯山駅から徒歩約5分
〔お車〕上信越自動車道・豊田飯山ICから約15分

カヤック・フィニッシュ／バイク・スタート地点

湯滝橋カーポート

長野県飯山市大字一山字川押1898

〔電車〕JR飯山線上境駅より徒歩10分
〔お車〕上信越道・豊田飯山ICから約30分海・里・森のつながりに
思いを巡らせながら
自然を体感!

2017

環境スポーツイベント シートゥーサミット®



SEA TO SUMMIT®

2017

CHIKUMA RIVER

Mt. KOSHA

10/21・22

千曲川・高社山

長野県

SAT SUN

長野県中野市・飯山市(モンベルフレンドエリア 信越自然郷)

大会プログラム



KAYAK 12km



BIKE 21.5km



HIKE 5km

主管／中野市、飯山市、千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT® 実行委員会
(事務局:中野市経済部営業推進課・飯山市経済部商工観光課・飯山市経済部広域観光推進室・信越自然郷アクティビティセンター)

後援／観光庁、スポーツ庁、環境省長野自然環境事務所、長野県

【お問い合わせ】
SEA TO SUMMIT® 連絡協議会 事務局 (株式会社モンベル 広報部内)
TEL 06-7670-3186 FAX 06-6531-5536 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2オフィシャルウェブサイト
<http://www.seatosummit.jp/>オフィシャルウェブサイト <http://www.seatosummit.jp/>

※「SEA TO SUMMIT / シートゥーサミット」は株式会社モンベルの登録商標です。





千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT® 2017 大会に寄せて



SEA TO SUMMIT®
連絡協議会理事長
モンベルグループ代表
辰野 勇

この度、長野県中野市、飯山市を始めとした関係各位の協力のもとに、初めての「千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT® (シートゥーサミット)」が開催される運びとなりました。

豊かな水脈と山系に囲まれた長野県北信地域に、全国からアウトドアスポーツを愛好する人々が集います。それぞれのペースで、タイムを競うことなく、かけがえない大自然の循環を肌で感じながら、カヤック・自転車・登山の人力のみの手段で、北信地域の魅力を味わう大会が繰り広げられます。

自然の循環を感じる環境スポーツイベントとして始まった「SEA TO SUMMIT®」。そのコンセプトのもとに、365日いつでも快適な旅やアクティビティを楽しめる新しいエコツーリズムの形として「Japan Eco Track (ジャパン エコトラック)」を全国各地に向けて提案しております。「SEA TO SUMMIT®」に参加いただいた後にも、ぜひまた北信地域を訪れていただき、四季折々の魅力を感じていただきたいと思っております。

川・里・山。

「SEA TO SUMMIT®」では、人力だけで海から頂上を目指し、大自然を全身で感じながら汗をかき、人と自然の関わり方の在るべき姿を改めて考える、そんな時間を皆さんと共有したいと思います。



大会長
中野市長
池田 茂

「千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT® 2017」に全国各地から大勢の皆さんにお越しいただき、心から歓迎申し上げます。

当地域は、長野県、新潟県にまたがる信越9市町村の山里からなる豊かな水脈と山系に囲まれた、肥沃な土地を「信越自然郷」と命名し、山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくりを目指しています。

さて、この度、初の開催となる「千曲川・高社山」エリアは、雄大な大自然に囲まれた「ふるさと」の原風景が漂う昔懐かしい風情のある景色が魅力の一つであり、この地で本大会が開催されることに大変喜びを感じております。この大会を通じ、信越自然郷アクティビティの知名度向上とこの地域の魅力である「自然」「文化」「食」を情報発信して参りたいと考えております。

また、当エリアは、1日の気温差が大きいことや日照時間が長いことから果樹栽培に適した土地柄でリンゴをはじめブドウやサクランボ等の果物、エノキタケなどの健康食材のきのこ類等、数多くの特産品があります。

御参加いただく皆様には、日本最長の千曲川でのカヤック、秋風薫る大地を自転車で駆け抜け、修験の山「高社山」での登山を通じ、「千曲川・高社山」エリアの「自然」「文化」「食」を存分に満喫していただけたら幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり御協力をいただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げるとともに、選手の皆様の御健闘を祈念し、歓迎の御挨拶いたします。



副大会長
飯山市長
足立正則

「千曲川・高社山SEA TO SUMMIT® 2017」に全国各地からご参加いただき心から歓迎申し上げます。飯山市は長野県北部に位置し、市の中央を南北に流れる日本最長の川「千曲川」は、遠い昔から変わらぬ流れをみせており、新潟県に入り「信濃川」と名前を変えて日本海へ注いでいます。

2015年に北陸新幹線飯山駅が開業し、広域観光エリア「信越自然郷」のブランド化に向けて9つの市町村で広域観光事業を展開しております。そのひとつが「JAPAN ECO TRACK 信越自然郷」です。国内3番目に認定いただき365日いつでも快適にアクティビティスポーツで旅ができる環境づくりに取り組んでおり、近年ではトレッキングやサイクリング・カヌーなどで四季折々の日本のふるさとをめぐる「里山アウトドア」を楽しむ方が増えてきております。

本大会では、ゆっくりと流れる約12kmの川下りを堪能いただくと共に、川から眺める周囲の自然を楽しんでいただきたいと思います。また、バイクセクションでは、みなさんが目指す高社山を左前方に4kmの爽快な直線区間があり、各セクション体感・見どころが満載です。

今回の開催にあたり、ご尽力いただきました大会関係者の皆さまには深く御礼申し上げますと共に、この2日間は参加者みなさまの良い思い出となりますよう心より祈念し歓迎のあいさついたします。

千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT® 2017

開催要綱

主催	中野市、飯山市、千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT® 実行委員会 (事務局:中野市経済部営業推進課・飯山市経済部商工観光課・飯山市経済部広域観光推進室・信越自然郷アクティビティセンター)
後援	観光庁、スポーツ庁、環境省長野自然環境事務所、長野県
協賛	株式会社モンベル、株式会社SUBARU 大山ハム株式会社、株式会社ピクセン、アリスト販売株式会社、オリンパス株式会社、プロトレック、エクシム、日本ゴア株式会社、株式会社ウェザーニューズ、株式会社むそう商事、ナイトアイズ、教えて!「かくれ脱水」委員会、株式会社ヤママップ、ジェットボイル、バイオライト、ヘリノックス、ヒューマンギア、ラフウェア、アドベンチャー・テクノロジー 他(順不同)
大会期日	2017年10月21日(土) - 10月22日(日)
会場	10月21日 中野市豊田文化センター(大会受付・開会式・環境シンポジウム) 10月22日 中央橋カヌーポート(スタート/雨天決行) 【川のステージ(カヤック)】中央橋カヌーポート→湯滝橋カヌーポート(いいやま湯滝温泉)(約12km) 【里のステージ(自転車)】湯滝橋カヌーポート→中央橋木島側堤防→中野市立科野小学校(約21.5km) 【山のステージ(ハイク)】中野市立科野小学校→高社山頂上(約5km) 飯山市文化交流館なちゅら(表彰式・閉会式)

定員 先着300名(募集人数に達し次第、受付を終了します)

参加費
【シングルの部】 税抜き料金¥10,500(税込¥11,340)
【チームの部】 税抜き料金¥10,500(税込¥11,340)×人数
【学生割引(大学生まで)】 税抜き料金¥5,500(税込¥5,940)×人数 ※受付時に学生証の提示をお願いいたします。
※参加費には「環境保全協力金¥500」を含む
 ※小学生以下は無料(参加には保護者の同伴が必要です。参加記念品「大会ロゴ入りTシャツ」はありません)

参加資格
 ●シングルの部:高校生以上 チームの部:中学生以上
 ●健康な方で、参加者全員分のカヤック装備(パドル・ライフジャケット・ヘルメットの装着を含む/SUPの場合リーシュコード必須)、自転車装備(ヘルメットを含む)、水分補給のための給水用装備(ハイドレーション・システムなど)を用意できる方
 ●大会事務局より大会参加承認を受けた方
※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。
 ※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。
 ※年齢は大会当日を基準とします。

日程	10月21日(土)	10月22日(日)
	【会場】中野市豊田文化センター 13:00~13:30 大会受付 13:30~13:50 開会式 13:55~14:55 環境シンポジウム(P.7参照) 15:00~15:30 大会説明 16:00~ カヤック・自転車搬入(中央橋カヌーポート/湯滝橋カヌーポート)	【会場】中央橋カヌーポート 5:00~6:00 カヤック・自転車搬入 登山装備預かり 6:00~ 参加者集合 6:30~ 大会スタート 【会場】飯山市文化交流館なちゅら 15:00~ 閉会式会場オープン 15:30~ 表彰式・閉会式・参加者集合写真撮影 16:45 終了

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

制限時間
 ●12:00までにハイクスタート(中野市立科野小学校/約33.5km地点)
 ●13:30までに高社山頂上に到着すること
※詳しくは次ページの地図をご覧ください。

シャトルバス運行(12:00~15:00 随時運行)

パノラマランド 木島平(下山地点) ▶ 中央橋カヌーポート(スタート地点) ▶ 飯山市文化交流館なちゅら(閉会式会場)

10月22日 日

大会コースとチェックポイントのご案内です。応援ポイントなどもご紹介しておりますので、ぜひ参考にしてください。

千曲川・高社山地方の気象情報

(協力：株式会社ウェザーニューズ)

大会コースの主要ポイントの天気や風、波の高さなど気象情報をご案内しています。

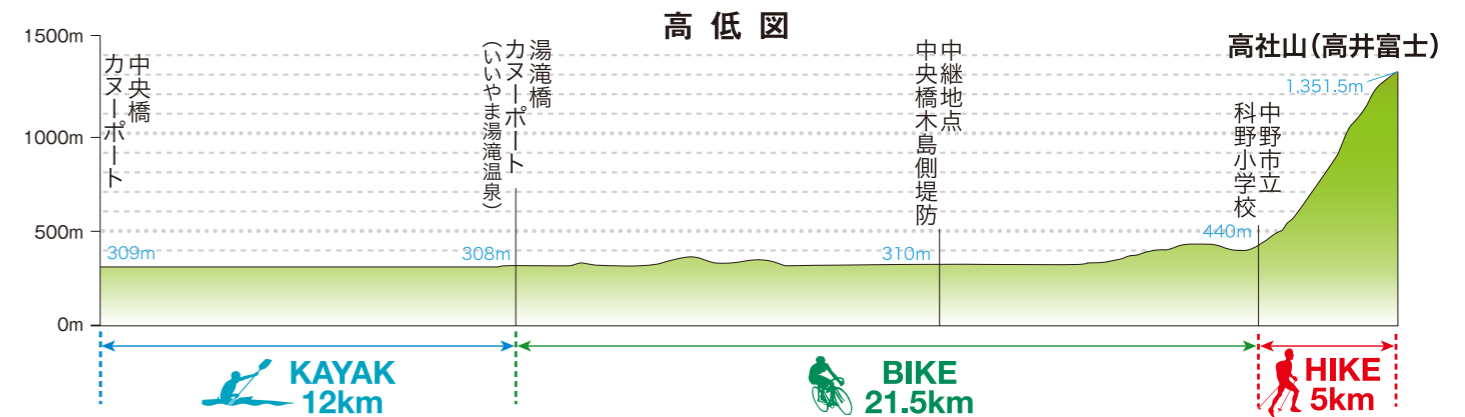
<http://weathernews.jp/s/pinpoint/seatosummit/?area=chikumagawa>

千曲川・高社山大会のコースマップ

(協力：株式会社ヤマップ)

コースや主要ポイントを網羅した大会専用地図が、YAMAPアプリにて無料でご利用いただけます。

※事前にYAMAPアプリをダウンロードし、会員登録のうえ、ご利用ください。

<https://yomap.co.jp/map/6669>

36°51'12"N、138°22'19"E

中央橋 木島側堤防

(中継地点)



【応援目安時間】9:00 - 10:00

36°50'59"N、138°22'6"E

中央橋カヌーポイント

(大会スタート地点)



【応援目安時間】6:30 - 7:00

36°47'2"N、138°22'8"E

中野市立科野小学校

(ハイクスタート地点)



【応援目安時間】9:30 - 11:30

【応援サポーターの方へ】

路上駐車、自動車による自転車との併走は他の方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。各応援ポイントの最寄りの駐車場 **P** をご利用ください。

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります

mont-bell株式会社モンベル
http://www.montbell.jp/

総合アウトドア用品メーカー。「FUNCTION IS BEAUTY (機能美)」[LIGHT & FAST]をコンセプトに、高機能な登山用品、アウトドア用品の開発・製造・卸・販売を行っています。

 SUBARU株式会社SUBARU
https://www.subaru.jp/lifeactive/

2017年4月1日より、富士重工業株式会社から株式会社SUBARUへ社名変更し、「モノをつくる会社から、笑顔をつくる会社へ」生まれ変わりました。これからも人生をアクティブに楽しむ人々を応援し続けます。

 大山ハム
DAISENHAM大山ハム株式会社
http://daisenham.co.jp/

2013年ドイツ農業協会(DLG)主催国際品質競技会9年連続金賞受賞の「カントリーロースト(スライス)」を中心に、丹念に造り上げたハム・ソーセージ・ベーコンを食卓にお届けします。

 JETBOILジェットボイル
http://www.jetboil.jp/

アメリカで数多くの賞をおさめた、アウトドア用調理器具ブランド「ジェットボイル」。保温クッカーと熱効率の高いストーブがセットになった、簡単便利・軽量・コンパクトな製品を生み出しています。

 BioLiteバイオライト
http://www.biolitestove.jp/

ガソリンなど化石燃料を使わずに、強力で安定した焚き火ができ、さらに発電もできる画期的なキャンピング・ストーブを開発。ソーラーチャージャーやライティンググッズなど、電気力でアウトドアを快適にします。

 Helinox
lightweight outdoor adventure equipmentヘリノックス
http://www.helinox.jp/

優れた強度と柔軟性を持つアルミニウムポールを採用した超軽量・コンパクトなチェアやテーブル、コットなど、革新的なアイテムを生み出すアウトドア・ファニチャーのブランドです。

 Vixen株式会社ビクセン
http://www.vixen.co.jp/

ビクセンは60年以上にわたって、双眼鏡、天体望遠鏡、ルーペなどを製造している光学機器のメーカーです。レンズ越しに広がる美しい星空や、新しい眺めを、より多くの人に楽しんでもらいたいと願っています。

 MEDALISTアリスト販売株式会社
http://www.arist.co.jp/

「メダリスト」はクエン酸サイクルに基づき開発された、10年以上の実績を誇る回復系飲料のロングセラー。1ℓで梅干し約12個分のクエン酸とアミノ酸、ビタミン、ミネラルなど40種類の成分を配合しています。

 weathernews株式会社ウェザーニューズ
http://weathernews.jp/

グローバルに展開する気象情報会社。スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」や24時間お天気情報番組「SOLiVE24」を通して、地震・津波の発生や大雨などによる災害リスクをいち早くお伝えします。

 humangear™ヒューマンギア
http://www.humangear.com/

「ゴートウェア」や「ゴートウェア」など、アウトドアやトラベル・シーンを快適にする、シリコン製容器や、丈夫で軽量のカタラー・シリーズなどユニークなアイテムを取りそろえた、アメリカ発のブランドです。

 RUFFWEARラフウェア
http://www.ruffwear.jp/

犬と一緒にアウトドア・アクティビティを楽しむことを提案し、その実現のためにさまざまなギアやウェアを製造しています。

 OLYMPUSオリンパス株式会社
http://olympus-imaging.jp/

オリンパスは映像事業を通じて、お客さまのさまざまな環境下(特にSEA TO SUMMIT®のような厳しい環境下)でも「思い出」「夢」を創造し、より豊かな生活を提案させていただきます。

 PRO TREKプロトレック
http://protrek.jp/

いかなる状況下でも、すばやく自然を感じる本格アウトドアギアとしてのユーザビリティを追求し、常に進化を続ける時計ブランドです。さまざまなフィールドへの挑戦をサポートします。

 EXILIMエクシリム
http://casio.jp/dc/

CASIOのEXILIMは1995年に世界初の液晶モニターつきデジタルカメラとして誕生。ハイスピードをはじめとした独自の技術で、斬新なモノ創りによりお客様のニーズやウォンツに応えます。

 GORE-TEX®
PRODUCTS日本ゴア株式会社
http://www.gore-tex.jp/

耐久防水性、防風性、透湿性を併せ持つ機能性素材 GORE-TEX®ファブリックスの製造メーカー。GORE-TEX®プロダクトは、気候の変化から体を守り、アウトドアでの活動をより快適なものにします。

 株式会社むそう商事株式会社むそう商事
http://www.muso-intl.co.jp/taste_of_nature.php

オーガニック食品・原材料の輸入卸売業。サクッと歯ごたえの良い玄米パフとナッツにドライフルーツの酸味がクセになる美味しさ「オーガニックフルーツ&ナッツバー」を提供しております。

 NITE IZEナイトアイズ
http://cmoon.biz/

ロッキーマウンテンの麓、コロラド州ボールダーで創業より28年、日常生活からアウトドアまで、よりシンプルに、より安全に、そして少しでも皆が楽しくなるような商品を開発し続けています。

教えて!
「かくれ脱水」委員会教えて!「かくれ脱水」委員会
http://www.kakuredassui.jp/

深刻な脱水状態の一手前を「かくれ脱水」と名づけ、脱水に対する正しい知識と予防方法・対処方法を伝えています。私たちは、深刻な脱水状態を防ぐことで熱中症で搬送される人をゼロにしたい。

 YAMAP株式会社ヤママップ
https://yamap.co.jp

国内最大級の登山・アウトドアアプリ「YAMAP(ヤママップ)」。コースや主要ポイントを網羅した大会専用地図が、YAMAPアプリにて無料でご利用いただけます。ルート確認や思い出の記録にご活用ください。

 ADVENTURE TECHNOLOGYアドベンチャー・テクノロジー
http://www.atpaddles.com/us/

人間工学を追求したパドルブランドのノウハウで特許を持つパドルブランド。ホワイトウォーターからツーリングまで幅広く展開しています。

環境シンポジウム 10月21日(土)

【会場】中野市豊田文化センター

〒389-2101 長野県中野市豊津2509
TEL:0269-38-2922**参加無料**環境シンポジウムはどなたでも
ご参加いただけます。13:30~13:50 **開会式**13:55~14:55 **基調講演 野田知佑**(カヌーイスト・エッセイスト)

「郷愁溢れる小学唱歌の風景を行く」

**野田知佑** Tomosuke Noda
カヌーイスト・エッセイスト

1938年熊本県生まれ、徳島県在住。日本のカヌーツーリングの草分けで、日本国内の川をはじめ、ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、オーストラリアなど世界各地の川を旅してきた。雑誌記者を経て作家となり、川やカヌー、環境問題に関する著書を多数発表している。アウトドア誌、モンベル会報誌「OUTWARD」などに連載中。主な著書に「日本の川を旅する」、「のんびり行こうぜ」、「ぼくの還る川」など。近著に「ナイル川を下ってみたいか」等がある。また、徳島県・吉野川で行っている「川ガキ養成講座」の校長を務め、子どもたちに川遊びの楽しさを伝えている。

15:00~15:30 **大会説明**